

UC-1 Cloud 自動設計 仮設構台

UC-1製品同梱! ● サブスクリプションユーザは無償で利用可能!

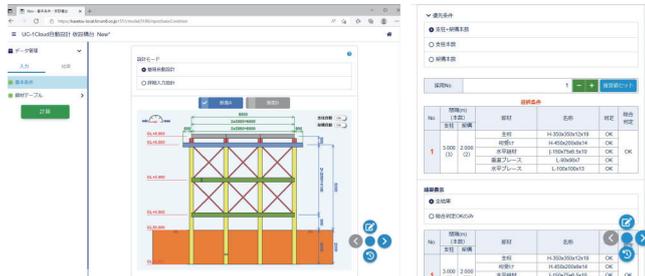
- クラウド機能
- マルチデバイス対応
 - インターネットがあればどこでも使用可能
 - クラウド上でデータベース管理

自動設計では、設定した支柱や架構の最小間隔（本数）から最大間隔（本数）まで全ての結果を確認でき、鋼材が最も少なくなる配置条件を抽出することができます。形式は「乗入れ構台、仮棧橋」及び「路面覆工」に対応しています。本製品で自動設計を行った後、データファイル「*.F8J」をエクスポートし、「仮設構台の設計・3DCAD」で読み込み、詳細設計や計算書作成、図面の出力が行えます。

【主な機能】

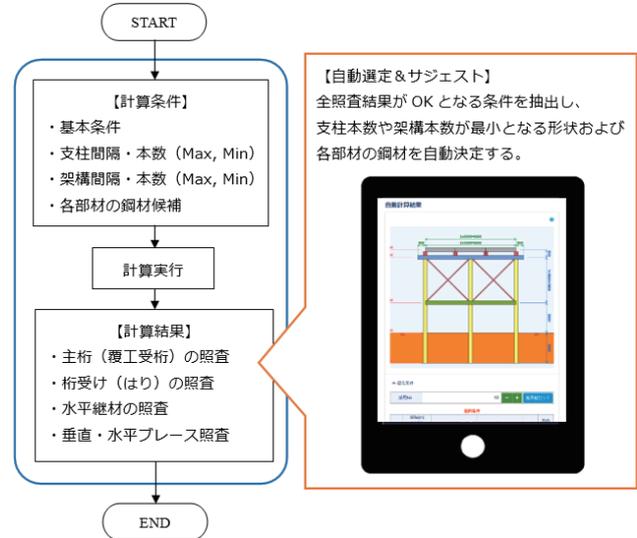
- 最小限の基本条件と支柱条件（間隔・本数）、架構条件（間隔・本数）、計算対象とする各部材の鋼材候補などを設定可能
- 支柱や架構の検討範囲（最小間隔、最大間隔）を指定し、最も鋼材が少ない配置条件を自動選定
- 一度の計算で、指定した支柱や架構の最小間隔（本数）から最大間隔（本数）まで全ての結果を確認
- 各部材については登録されている鋼材の全て、または任意に複数の候補を選択することが可能

▼新規入力



▼結果画面

No.	規格	単位	値	規格	単位	値	判定
1	1000	2.000		主桁	H 300X300X10	OK	
				桁受け	H 400X200X10	OK	
				水平継材	L 150X75X5	OK	
				垂直継材	L 100X50X3	OK	



型枠支保工の設計計算

プログラム価格
¥179,300
(税抜 ¥163,000)

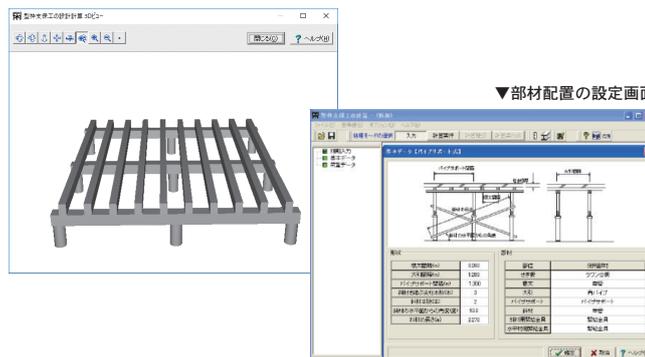
「足場・型枠支保工設計指針」準拠の
型枠支保工の設計計算プログラム

Windows 10/11 対応
電子納品

「足場・型枠支保工設計指針」(社) 仮設工業会に準拠し、配置間隔、使用部材、荷重などの設計条件により、型枠支保工の部材に生じる支持力、曲げ・せん断応力、たわみなどを計算して、許容値に対する検討を行うことができます。

- 形式: パイプサポート式、軽量支保ばり式、枠組み式、くさび緊結式、パイプサポート式と枠組み式の組み合わせ
- 部材は部材データベースから選択、形状寸法、断面性能、規格を入力可能
- 部材データベース: せき板、根太、大引、建枠、軽量支保ばり等の部材ごとに登録、ユーザーごと、プロジェクトごとの管理可能
- 荷重の算定: コンクリート厚、仮設荷重等を設定し鉛直、水平荷重を算定
- 支保工部材の検討: せき板、根太、大引の応力度・たわみ量を照査
- 支柱、斜材、緊結金具の照査: 部材に作用する軸力を算出し、耐力と比較照査
- 座屈に対する照査: 斜材、梁のせき板など軸力がかかる部材について照査

▼3Dビュー



耐候性大型土のうの 設計計算 Ver.3

プログラム価格
¥190,300
(税抜 ¥173,000)

耐候性大型土のうを用いた
積層工法の設計計算プログラム

Windows 10/11 対応
電子納品 3D PDF
体験セミナー

『「耐候性大型土のう積層工法」設計・施工マニュアル (一般財団法人土木研究センター 平成 24 年 3 月)』に準拠し、耐候性大型土のうを用いた積層工法の設計計算を行うプログラムです。内的安定 (袋体の耐力照査)、外的安定 (滑動、転倒、支持力)、全体安定 (円弧すべり) の計算ができます。

- 仮設土留め工: 背面側がのり面や斜面で、前面側が何も無い場所での積層
- 仮締切工: 背面側が何も無く、前面側に水を湛えている場所での積層
- 仮護岸工: 背面側が斜面や盛土で、前面側に水を湛えている場所での積層
- 災害復旧工: 条件により「土留め・護岸型」と考えられる場合は検討可能
- 内的安定 (袋体の耐力照査)、外的安定 (滑動、転倒、支持力の照査)
- 全体安定 (円弧すべり) データから、「斜面の安定計算」でより詳細な検討が可能
- 背面水位の考慮をサポート、試行くさび法による土圧計算・静水圧の計算、全体安定 (円弧すべり) の計算にも対応
- 危険水位の算出、安全勾配の算出が可能

▼メイン画面

